

雨もあがり、春の日ざしを感じる、今日の良き日に、PTA会長 又野史郎 様、愛校会会長 代理 平野公二 様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、保護者の皆様のご出席のもと、かくも盛大な入学式が挙行できますことをたいへん嬉しく思います。

只今、新入生152名の入学を許可いたしました。新入生の皆さん、そして、保護者の皆様 本日は誠にめでとうございます。心からお祝い申し上げます。今日の感激を忘れず、決意を新たに有意義な高校生活を送ってください。

本校は、昭和48年に創立されています。平成10年に、普通科から総合学科に学科改編され、21年目を迎えます。総合学科は、生徒一人一人の個性や持っている力を伸ばし、それぞれの進路を実現することを目標としています。1年では、「産業社会と人間」という科目で将来を考え、2年次の「プレテーマ学習」、3年次の「テーマ学習」という「総合的な学習の時間」において体験的な活動を行います。これが大きな力となります。この春の卒業生は、米子高等学校での学習や活動を生かして、目標とする進路実現を果たしました。進学では、4年制大学進学者が30人うち国公立大学に11人と過去最多を記録しました。就職では、公務員、県内・県外企業のいずれにおいても100%内定しています。また、部活動も盛んです。新入生全員がいずれかの部活動で頑張ってもらいたいと思います。

さて、高校生活のスタートに当たり、新入生の皆さんに二つお願いがあります。

ひとつは、米子高校生として誇りと自覚ある行動をとってください。昨年度「地域連携協働活動」で文部科学大臣表彰を受賞しました。高校では唯一本校が受賞しておりますが、これは地域の皆様から、ご支援をいただき、信頼されている学校の証だと考えています。その信頼の理由は、生徒全員が米子高校生として誇りを持ち、自覚ある行動をしていることだと思います。挨拶がきちんとできる、地域のボランティア活動に積極的に参加するなど、皆さんの先輩達が積み上げてきた活動や行動が地域からの信頼を生んでいるのであります。新入生の皆さん、米子高等学校の生徒であることをしっかり自覚し 誇りを持って行動し、大いに活躍していただきたいと思います。

ふたつ目は、何事に対しても本気で取り組んでほしい。皆さんには大きな可能性がありますが、本気で取り組まなければその可能性は広がりません。失敗を恐れて何もしないことが、一番してはいけないことです。オリンピックのシンクロナイズドスイミング 日本代表ヘッドコーチの井村雅代さんは、その著書の中で次のことを言っています。【「私はこれが精いっぱい」と思うことは、自分の可能性を閉ざしている】これは、自分で自分の限界を作り、自らの可能性を駄目にしているということです。皆さんの力は、自分が思う以上にあります。この3年間 本気で取り組めば、人間として大きく成長し、自らの輝かしい将来を拓くことが出来ます。米子高等学校は、それが出来る学校です。何事にも本気でチャレンジしてください。

さて、保護者の皆様には、晴れて本日を迎えられ感慨深いものと拝察いたします。私ども教職員一同は、お寄せいただいた大きな期待をしっかりと受け止め、全力で教育に当たる所存であります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育方針をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。また、PTA活動にも是非、お力添えいただきますようお願いいたします。

結びになりますが、お忙しい中、本日の入学式にご臨席賜りましたご来賓の皆様方に対し心より御礼申し上げます。ありがとうございました。今後とも新入生並びに本校教育に対しご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さんが充実した高校生活を送り、大きく成長することを祈念して式辞と致します。

